

[前画面へ戻る](#)

科目名	建築と社会B
科目名(英訳)	Social Issues in Architecture B
科目ナンバー	EA100A03
詳細情報	授業外学修時間:週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	古川 忠稔 稲川 直樹(非) 松山 明(非) 溝口 正人(非)
単位数	2
開講学年	3年
開講セメスター	秋期毎週
対象学科 選択・必修	必修:EA 選択:
他学科受講	
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	
カリキュラムの中での位置付け /DP(ディプロマ・ポリシー)	地球的な視野を養い、地域的・歴史的・人間的に多様な価値観があることを理解できる(A1)。現代社会における建築的な重要課題について理解できる(B11)。  【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:○ ③-(1):◎
身につく基礎力 / 身につく汎用力	プレゼンテーション力 傾聴・受信力 / 豊かな教養 国際的な視野 多様性

授業の主旨 (概要)	社会・歴史・地域・資源と建築の関係、あるいは各時代の社会に存在する固有の問題を、3人の専任教員と2人の非常勤および特別講師がそれぞれの研究成果をもとにして論じる。	
具体的 達成目標	各時代の特質を強く反映してきた建築を通じて、社会・地域・歴史と建築の関係を理解できる。具体的には、 1. 環境問題と木造建築の関係を理解できる。(古川) 2. 公的住宅制度の現在の課題を通じ、社会の変動に対応する需要動向を正確に把握する計画の重要性や国民生活の安定に欠かせない住宅セーフティネットの必要性を理解できる。(松山) 3. 西洋建築がキリスト教と地中海文明にどのように規定されてきたかを理解できる。(稲川) 4. 伝統的な日本建築のデザイン的特質を、近現代の建築との比較により理解できる。(溝口) 5. 伝統木造建築の仕組みと知恵が理解できる。(田淵)	
	1	<b>【内容】</b> シラバスの配布とガイダンス 古川忠稔 森林環境と木材利用  <b>【授業外学習】</b> 事前に教科書を予習し、事後に復習し関連文献を探して読む。
	2	<b>【内容】</b> 古川忠稔 木材と木造建築  <b>【授業外学習】</b> 事前に教科書を予習し、事後に復習し関連文献を探して読む。
	3	<b>【内容】</b> 古川忠稔 木造軸組工法住宅の構造と施工  <b>【授業外学習】</b> 事前に教科書を予習し、事後に復習し関連文献を探して読む。
	4	<b>【内容】</b> 松山 明 公的住宅供給計画(1)住宅施策の課題と公的住宅制度概要  <b>【授業外学習】</b> 事前に教科書を予習し、事後に復習し関連文献を探して読む。
	5	<b>【内容】</b> 松山 明 公的住宅供給計画(2)公営住宅整備基準・平面計画の変遷とデザイン  <b>【授業外学習】</b> 事前に教科書を予習し、事後に復習し関連文献を探して読む。

④ 授業計画	6	【内容】 松山 明 公的住宅供給計画(3)再整備事業の現状と課題
		【授業外学習】 事前に教科書を予習し、事後に復習し関連文献を探して読む。
	7	【内容】 これまでの講義内容の振り返り
		【授業外学習】 教科書とノートを復習する。
	8	【内容】 稲川直樹 建築とキリスト教 I コンスタンティヌス大帝とキリスト教
		【授業外学習】 事前に教科書を予習し、事後に復習し関連文献を探して読む。
	9	【内容】 稲川直樹 建築とキリスト教 II ノルマン王朝と神聖ローマ皇帝フリードリヒ二世:異文化の融
		【授業外学習】 事前に教科書を予習し、事後に復習し関連文献を探して読む。
	10	【内容】 稲川直樹 建築とキリスト教 III 教皇庁とサン・ピエトロ聖堂の再建
		【授業外学習】 事前に教科書を予習し、事後に復習し関連文献を探して読む。
	11	【内容】 溝口正人(非常勤講師) I 先史日本建築の諸相 —考古学と建築史—
		【授業外学習】 事前に教科書を予習し、事後に復習し関連文献を探して読む。
	12	【内容】 溝口正人(非常勤講師) II 中国の家族と生活様式 —民俗学と建築史—
		【授業外学習】 事前に教科書を予習し、事後に復習し関連文献を探して読む。
	13	【内容】 溝口正人(非常勤講師) III 街並みの魅力と保存 —都市景観と建築史—
		【授業外学習】 事前に教科書を予習し、事後に復習し関連文献を探して読む。
14	【内容】 田淵敦士(特別講師) 伝統木造建築の仕組みと知恵(1) 自然災害と歴史	
	【授業外学習】 事前に教科書を予習し、事後に復習し関連文献を探して読む。	
15	【内容】 田淵敦士(特別講師) 伝統木造建築の仕組みと知恵(2) 保存と発展のための技術	
	【授業外学習】 事前に教科書を予習し、事後に復習し関連文献を探して読む。	
16	【内容】 期末試験	
	【授業外学習】 教科書とノートを復習する。	
④ 授業方法	複数の教員によるスライドを用いた講演形式の講義である。なお、履修に際しては自宅で予習・復習すること。	
④ 成績の評価方法	<p>下記の5項目の達成度を試験および授業参加の積極性によって評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境問題として森林と建築分野での木材利用の理解(18点)</li> <li>2. 公的住宅の制度概要と現状及び課題についての理解(18点)</li> <li>3. 西洋建築におけるキリスト教と建築の伝統の理解(18点)</li> <li>4. 近現代建築との比較による伝統的な日本建築のデザイン的な特質の理解(18点)</li> <li>5. 伝統木造建築の仕組みと知恵の理解(18点)</li> </ol> <p>1. 2. を中間試験で、3. 4. 5. を期末試験で評価する。 授業参加の積極性を10点で評価する。</p>	
④ 成績の評価基準	100点満点のうち、60点以上を合格とする。	
④ 教科書		
④ 参考文献		
④ 備考		
④ 関連ホームページ		
④ メールアドレス	古川 忠稔 shy4848@fsc.chubu.ac.jp 稲川 直樹 sni1863@fsc.chubu.ac.jp 松山 明 snx5176@fsc.chubu.ac.jp 溝口 正人 akanekokun@sf.commufa.jp	
④ オフィスアワー		